

《月次レポート》 アイエヌジー・日本債券オープン

追加型投信 / 国内 / 債券

 愛称 **ヨール・ファンド**

受益者用資料

平成22年7月30日現在

ファンドの特徴

- ◆主としてアイエヌジー・日本債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して、ポートフォリオを構成します。なお、OECD各国の国債等、政府関係機関等が発行する債券および社債などの債券等に直接投資する場合があります。
- ◆ポートフォリオの構成に当たっては少数銘柄に偏ることなく分散投資に留意し、インカムゲインの獲得を目指すとともに、リスクの低減に努めます。
- ◆当ファンドの具体的なポートフォリオ等につきましては、マザーファンドの情報を開示しています。
- ◆ポートフォリオに組入れられる債券の平均格付けは原則としてA格以上に保ちます。

ファンドの概要

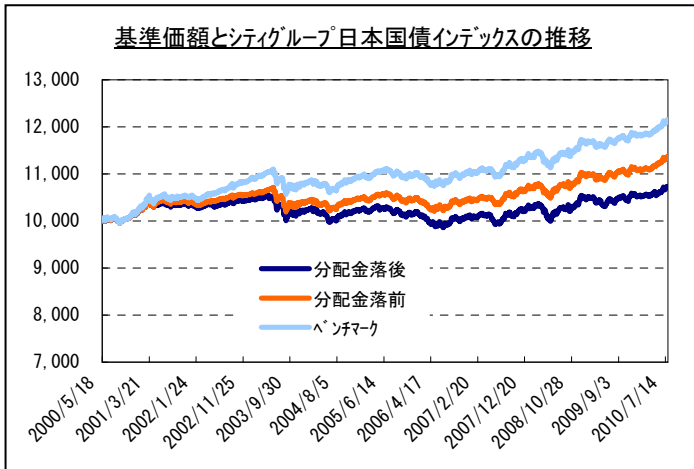
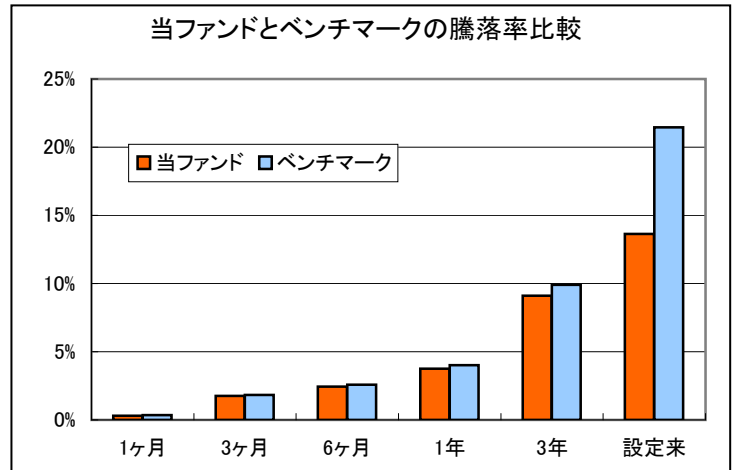
- 信託期間 無期限
- 設定日 平成12年5月18日(木)
- 決算日 毎年5月17日
- お申込み価額 お申込日の基準価額
- 申込手数料 販売会社によって異なることがありますので、販売会社でご確認下さい。
- 運用管理費用 (信託報酬) 純資産総額に対し年率0.5775% (税抜0.55%)
- ベンチマーク シティグループ日本国債インデックス
*当該指数に関する著作権等の知的財産権
その他の一切の権利は、シティグループ・マーケット・インクに帰属します。

騰落率(リターン)

単位:%

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
当ファンド	0.31	1.77	2.45
ベンチマーク	0.36	1.84	2.59

	1年	3年	設定来
当ファンド	3.77	9.11	13.63
ベンチマーク	4.02	9.92	21.46



基準価額・純資産総額

基準価額(円)	10,733
純資産総額	2,053(百万円)
既払分配金(円)	630
直近分配金内訳	
(第7期)	2007年5月17日 60
(第8期)	2008年5月19日 70
(第9期)	2009年5月18日 70
(第10期)	2010年5月17日 70

※ベンチマークの数値はファンド設定日の前日の値を10,000に指数化して表示しています。

※基準価額は信託報酬(純資産総額の年率0.5775%(税抜0.55%))控除後。分配金落前基準価額は税金控除前分配金込み基準価額。手数料は考慮していません。

ファンドコメント

当月は、世界的な景気動向に不透明感が残るなか、神経質な展開を予想し、安定した利回り確保を意図した運用を継続しました。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークよりも短めで運用を開始し、金利水準の変動に応じて調整を実施しました。残存構成に関しても、相場変動に応じた調整を行いました。これら機動的な操作を実施したものの、堅調地合いのなか短めのデュレーションを維持したことがマイナスに寄与し、当ファンドは運用諸費用分のアンダーパフォームとなりました。

世界経済の不透明感が強まるなか、神経質な相場が続くと予想します。国内市場に関しては、緩和的な金融政策が相場の下支えとなり、長期金利は低位で推移するとも思われます。このような中、引き続き安定した利回り確保と市場変動に応じた運用により安定的な超過収益の獲得に努めます。

平成22年7月30日現在

アイエヌジー・日本債券マザーファンド

上位組入れ銘柄

	種別	銘柄名	償還日	格付*	クーポン(%)	デュレーション	純資産比率(%)
1	国債	第91回利付国債(20年)	2026年9月20日	AA	2.300	13.60年	3.8
2	国債	第101回利付国債(20年)	2028年3月20日	AA	2.400	14.55年	3.6
3	国債	第301回利付国債(10年)	2019年6月20日	AA	1.500	8.35年	3.6
4	国債	第306回利付国債(10年)	2020年3月20日	AA	1.400	9.00年	3.6
5	国債	第261回利付国債(10年)	2014年6月20日	AA	1.800	3.76年	3.3
6	国債	第95回利付国債(20年)	2027年6月20日	AA	2.300	14.20年	3.2
7	国債	第308回利付国債(10年)	2020年6月20日	AA	1.300	9.29年	3.2
8	国債	第289回利付国債(10年)	2017年12月20日	AA	1.500	7.01年	2.9
9	国債	第303回利付国債(10年)	2019年9月20日	AA	1.400	8.57年	2.9
10	国債	第71回利付国債(5年)	2013年3月20日	AA	1.300	2.58年	2.8

*格付は目論見書記載のとおり、複数の機関によって格付がなされている場合にはその最低の格付を採用しております。(採用する格付機関:S&P、ムーディーズ、JCR、R&I)

	日本債券マザー	ベンチマーク
平均デュレーション	6.80年	7.17年
平均最終利回り	0.72%	0.69%

マーケットコメント

国内債券市場は、景気減速懸念や世界的な金融緩和政策の長期化観測を背景に底堅い推移となり、10年国債最長期債利回り(以下、長期金利)は1.05%付近まで小幅に低下しました。

月初に発表された日銀短観は予想を上回る改善を示したものの、先行き懸念を背景に足元の株価が軟調に推移するなか、特段の材料とはなりません。その後、株式市場の反発や米長期金利の上昇が相場の上値を抑えました。6日に実施された10年国債入札がやや低調な結果に終わったことも弱材料となり、長期金利は1.1%台半ばまで緩やかに上昇しました。

中旬に入ると、参院選で民主党が大敗、財政再建路線の頓挫が懸念されるなか金利上昇を予想する向きが多かったものの、超長期債を中心とする国内投資家の根強い債券需要が相場を下支えました。また、軟調な米経済指標の発表に加え、FRB(米連邦準備理事会)が経済成長率見通しを下方修正したことを受けて米長期金利が低下したことから国内債券市場もこの流れを引き継いで堅調地合いとなり、長期金利は1.1%を下回る水準まで低下しました。

下旬は、バーナンキFRB議長が米国経済の先行き不透明感に言及したことや、緩和的な金融政策の長期化観測が金利の低下圧力となりました。良好な米企業決算を受けて一時的に金利が上昇する局面も見られたものの、影響は限定的でした。欧州の銀行の資産査定(ストレステスト)は想定内の結果であったことから材料とはなりません。月末にかけては、国内投資家の債券需要が下支えとなり、長期金利は1.05%付近まで低下しました。

主なリスクおよび留意点

当ファンドは、主として「アイエヌジー・日本債券マザーファンド」を通じて、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスクおよび留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

○価格変動リスク

株式や債券等の有価証券は経済動向、市況動向および企業の意思決定等によりその価格が変動します。特に、成長性の高い企業や成長性の高い業種については価格変動リスクが大きくなる傾向があります。

○金利リスク

一般的に金利が上昇した場合には債券価格が下落します。債券を保有している場合、ファンドの基準価額を下げる要因になります。

○信用リスク

株式や債券等の発行企業等が債務不履行になった場合、当該企業等の株式や債券等の価格は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務状況・信用状況の悪化等の影響により有価証券の価格が下落するとファンドの基準価額の下落要因になります。

○流動性リスク

株式や債券等の有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がり益が少なくなったり、または、被る損失が増加したりする可能性があります。

○カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、資産価値が大きく変動することがあります。

○解約資金の流出に伴うリスク

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。

○換金性が制限される場合

通常と異なる状況において、ご換金に制限を設けることがあります。取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受付を中止することがあります。

本資料は、アイエヌジー投信株式会社(以下「当社」)が作成した受益者用資料です。金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。投資信託は、預金等や保険契約と異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。本資料に記載されている個別企業、個別有価証券等は、説明のための例示であり、いかなる有価証券の売買、勧誘、または特定銘柄の推奨を意図したものではありません。また、一般的または特定の投資助言を行うものではありません。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。

《月次レポート》 **アイエヌジー・日本債券オープン**
追加型投信／国内／債券

愛称 **ヨール・ファンド**

受益者用資料

お客様にご負担いただく費用

お客様に直接ご負担いただく費用

申込手数料

お申込日の基準価額に対して上限0.525%（税抜き0.500%）を乗じた額とします。（注）

※＜自動けいぞく投資コース＞を選択された受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

（注）販売会社により異なりますので、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）

保有している期間の純資産総額に対し年率0.5775%（税抜き0.550%）。

その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。（その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。）

*手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので表示することはできません。

販売会社	金融商品取引業者／登録金融機関 登録番号	加入協会	備考
株式会社清水銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第6号	日本証券業協会	
アイエヌジー生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第538号	日本証券業協会	*

※備考欄の「*」は、現在当ファンドの新規の募集・販売を停止している販売会社を示しています。

設定・運用: アイエヌジー投信株式会社 金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第300号
加入協会: (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会

本資料は、アイエヌジー投信株式会社（以下「当社」）が作成した受益者用資料です。金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。投資信託は、預金等や保険契約と異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。本資料に記載されている個別企業、個別有価証券等は、説明のための例示であり、いかなる有価証券の売買、勧誘、または特定銘柄の推奨を意図したものではありません。また、一般的または特定の投資助言を行うものではありません。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。